

科目名	公衆栄養学						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	2	後期			
担当者名	末吉 奈保美	関連する資格	栄養士免許必修				
<b>授業概要</b> 人々の健康づくりを食生活からサポートできる栄養士となるために、必要な考え方、知識等について学ぶ。栄養士の役割と一次予防について知る。日本の健康・栄養問題の現状を知る。国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動について知る。グループ学習を通して、公衆栄養マネジメントの考え方を知る。							
<b>到達目標</b> 1. 栄養士の役割として一次予防が理解でき、実践できる 2. 国の健康・栄養施策や、公衆栄養活動が理解できる 3. 日本の健康・栄養問題の現状が理解できる 4. 公衆栄養マネジメントが理解できる			<b>成績評価方法</b> 受講態度およびレポート、定期試験などにより総合的に評価する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							
授業計画と概要				アクティブラーニング			
1) 公衆栄養学を学ぶ							
公衆栄養活動 歴史 概念							
2) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 1							
社会環境と健康・栄養問題 健康状態の変化							
3) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 2							
食事の変化 食生活の変化 食環境の変化							
4) わが国の健康・栄養問題の現状と課題 3							
食の安全安心と消費者の信頼確保							
5) わが国の健康・栄養・食料政策 1							
公衆栄養関連法規							

6) わが国の健康・栄養・食料政策 2	
国民健康・栄養調査 健康増進計画 食育推進基本計画	
7) わが国の健康・栄養・食料政策 3	
食生活指針 運動指針 食事摂取基準	
8) 公衆栄養活動の実際 1	
公衆栄養プログラムの展開 地域特性 食環境	
9) 公衆栄養活動の実際 2	
地域集団の特性別プログラムの展開	
10) 公衆栄養マネジメント グループワーク 1	グループワーク
11) 公衆栄養マネジメント グループワーク 2	グループワーク
12) 公衆栄養マネジメント グループワーク 3	グループワーク
13) 公衆栄養マネジメント グループワーク 4	グループワーク
14) 公衆栄養マネジメント グループワーク 5	グループワーク
15) まとめ	
授業外学習	
テキスト、参考書等で学習し、内容を理解しておく。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
テキスト「公衆栄養学」(第一出版 南江堂) 参考書 「日本人の食事摂取基準 2015」(第一出版) 「国民健康・栄養の現状」(第一出版) 「栄養調理六法」(新日本法規) その他必要に応じて資料を配布する	栄養指導論 公衆衛生学
備考	
授業中は私語をせず、携帯電話の電源はオフにすること。 配布資料は活用できるように、ファイルに整理すること。	